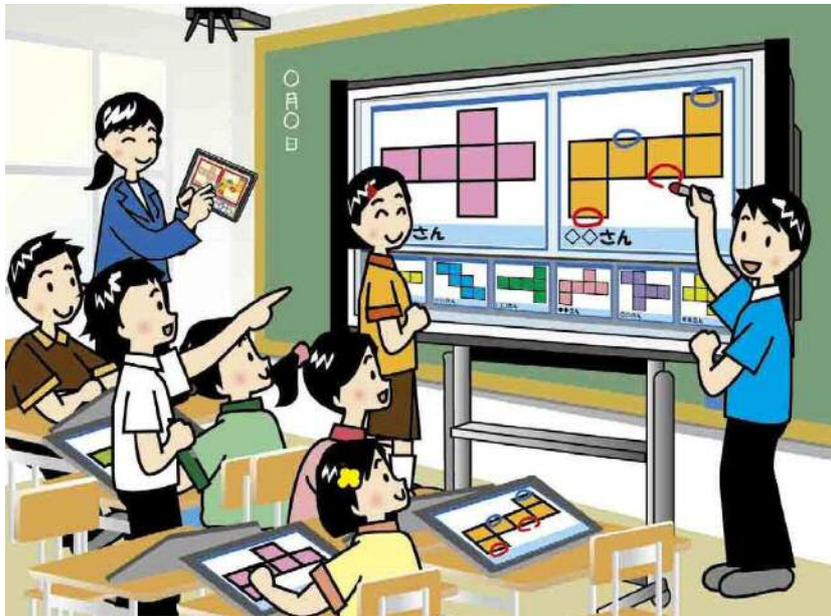


<第三次>

越前市教育の情報化計画書



平成30年4月

越前市教育委員会

目 次

	頁
第 1 章 教育の情報化計画の改定にあたって	
1 計画策定の目的と位置付け	1
2 計画期間	2
第 2 章 国・県における「教育の情報化」の動向	
1 国における「教育の情報化」の動向	4
2 福井県における「教育の情報化」の動向	6
第 3 章 越前市における教育の情報化の現状	
1 学校 I C T 整備状況	7
2 学校 I C T の教育現場での利活用状況	14
3 教員の I C T 活用指導力	15
第 4 章 教育の情報化事業推進に向けたアクションプラン	
1 これからの学習活動と求められる環境整備	16
2 第一次及び第二次越前市教育の情報化計画の達成状況	20
3 第三次越前市教育の情報化計画アクションプラン	24
参考資料 計画の策定及び実行体制	27
参考資料 越前市公立小中学校の所在地、児童・生徒数、教員数、教室数	28

第1章 教育の情報化計画の改定にあたって

1 計画策定の目的と位置付け

本計画は、「越前市総合計画（基本計画改定版）」（平成26年7月）及び「越前市教育振興ビジョン」（平成27年3月）を踏まえ、平成20年7月に制定、平成24年4月に改定された「越前市教育の情報化計画書」を基に、その達成状況及び社会的な変化に対応すべく更なる検討を加えたものです。平成24・25年に整備されたICT環境の再構築にあたり、有効に利用された環境は継承するとともに、



ICTを利用した授業

に、新学習指導要領に対応するために必要な環境を新たに整備することで、より良い教育の情報化を実現します。

「越前市総合計画」では、学校教育に関する分野として、「生きる力の育成」、「特色ある学校づくりの推進」、「夢を育む教育の推進」、「先進的なICT環境を生かした教育の推進」、「特別支援教育の充実」及び「小中学校における食育の推進」が体系付けられています。本計画は「先進的なICT環境を生かした教育の推進」の実現を図るための個別計画です。

越前市総合計画 第2章第6節人間力を高める教育の充実（2）義務教育の充実

4) 先進的なICT環境を生かした教育の推進

デジタル教科書など、ICTを活用したわかる授業づくりを通して学力の向上を図るとともに、情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度を育成する学習を推進します。

また、校務の情報化の推進により、事務の効率化を図り、教員が児童生徒と関わる時間を確保し、教育環境の向上を図ります。

【目指すべき方向】

情報教育を通して、児童生徒に「情報活用の実践力」や「情報の科学的な理解」、「情報社会に参画する態度」を育成します。また、情報機器やデジタル教科書を活用し、教育効果の向上や校務の効率化、情報の発信を図ります。

【実現するための事業】

ア 情報活用能力の向上

再構築された学校 I C T環境を活用した学習を推進するとともに、情報化の進展に即した情報教育が実施できる環境を整備していきます。

イ よりよい授業を実現するためのICT活用

教員の I C T環境を活用する指導力を一層向上させるとともに、I C T支援員と協力して教科指導などで情報機器やデジタル教科書を効果的に活用し、児童生徒が理解しやすい「わかる授業」を実施します。

ウ 学校情報の積極的な発信

学校ホームページを活用し、学校に関する情報を発信します。

2 計画期間

本書の計画期間は平成30年度から6年間とします。

これは、計画期間内は機器を継続して利用することができるとともに、故障時の保守物品が確保できる期間を想定しています。

絶え間なく変化する社会状況に対応するため、今後も必要により随時検討し、柔軟な見直しを行います。

越前市教育の情報化計画一覧

計画	主な内容
<p>第一次計画 平成19年度 ～23年度</p>	<p>全校の校内LANを整備。 市教委と学校とをネットワーク接続し、情報共有が可能に。 教職員1人1台のノートPCを配備。 全ての普通教室にプロジェクタを配備。 3学級に1台の書画カメラと簡易型電子黒板を配備。 デジタル教科書の導入（小学校国語、中学校英語）。</p>
<p>第二次計画 平成24年度 ～29年度</p>	<p>全ての普通教室に書画カメラを配備。 校務支援システム整備。 全ての普通教室に常設のノートPCを配備。 デジタル教科書小学校5教科、中学校6教科導入。</p>
<p>平成28年度</p>	<p>特別支援学級、通級指導にタブレットPC導入（スタンドアロン）。</p>
<p>第三次計画 平成30年度 ～35年度</p>	<p>本計画において策定。</p>

第2章 国・県における「教育の情報化」の動向

本計画を策定するにあたり考慮すべき国や県の方針等を記載するとともに、示された内容に関する越前市の現状もあわせて検証します。

1 国における「教育の情報化」の動向

○第2期教育振興基本計画（平成25年6月14日閣議決定）

整備目標

教育用コンピュータ1台当たりの児童・生徒数3.6人（*）、教材整備指針に基づく電子黒板・実物投影機の整備（1学級当たり1台）、超高速インターネット接続率及び無線LAN整備率100%、校務用コンピュータ教員1人1台の整備を目指すとともに、地方公共団体に対し、教育クラウドの導入やICT支援員・学校CIO（情報取扱責任者）の配置を促す。

*各学校に、①コンピュータ教室40台、②各普通教室1台、特別教室6台、③設置場所を限定しない可動式コンピュータ40台を整備することを目標として算出。

整備目標と越前市の現状

項目	整備目標	越前市の現状（平成29年度）
1 教育用コンピュータ	3.6人/台	5.7人/台（*）
① PC教室	40台/校	全校で890台
②-1 普通教室	1台/室	1台/室（192台）
②-2 特別教室	6台/校	なし
③可動式コンピュータ （タブレットPC）	40台/校	なし
2 電子黒板等（大型提示装置）		
①普通教室	1台/学級	1台/学級（192台）
②特別教室	1台/学級	なし
3 無線LAN	有	なし
4 校務用コンピュータ	1台/1教員	1台/1教員

表中* 平成29年度実稼働ベースで算出

○学校におけるICT環境整備の在り方に関する有識者会議 最終まとめ（平成29年8月 文科省 学校におけるICT環境整備の在り方に関する有識者会議）

これからの学習活動を支えるICT環境

各クラスで1日1授業分程度を目安とした学習者用コンピュータの活用が保障されるよう、3クラスに1クラス分程度の学習者用コンピュータを配置する。

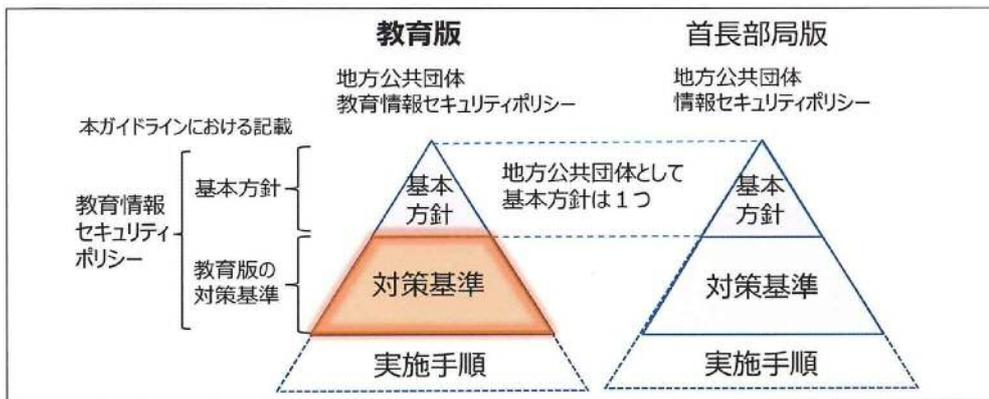
整備目標	越前市の現状（平成29年度）
3クラスに1クラス分程度の学習者用コンピュータ（タブレットPC） （越前市 2、520台相当）	学習者用コンピュータとしては、PC教室の学習者用デスクトップ PC890台が整備されている。

○教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン（平成29年10月 文部科学省）

学校においては、児童・生徒が日常的に情報システムにアクセスする機会があり、行政組織とは異なる特徴がある。そこで、地方公共団体においては学校向けの情報セキュリティポリシーを策定し、学校現場の特徴を踏まえた情報セキュリティ対策を講じる必要がある。

情報セキュリティポリシーの「基本方針」は地方公共団体共通の基本方針とし、「対策基準」は学校の特徴を踏まえて策定します。

図表1 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインの構成



これまではセキュリティについては運用の中で確保してきましたが、今回の文科省の指針を受け、セキュリティポリシーとして新たに策定する必要があります。

越前市教育情報セキュリティポリシーは、すでに市長部局で策定済みであり、これに教育版の対策基準を加えて策定します。また、児童・生徒に対しては、従来通り情報モラル教育の中で情報セキュリティの考え方を教育するとともに、児童・生徒をネット被害から守る取り組みを家庭で実践する「わが家のインターネット10カ条」の取り組みを進めます。

教育情報セキュリティ対策	越前市（教育委員会）の現状
セキュリティポリシーの策定	△ 運用ルール、教職員研修による対策有り
情報資産の分類	△ 文書管理規定有り
組織的・人的対策	△ 運用ルール、教職員研修による対策有り
物理的対策 技術的対策	○ 平成28年度セキュリティ強靱化事業において実施済み

2 福井県における「教育の情報化」の動向

○福井県教育方針（平成27年12月福井県教育委員会）

基本的な方針と主な施策

- 方針7 児童・生徒数の減少や社会の変化に対応した学校・学科の整備
誰もが楽しく学ぶ安全で快適な学校環境の整備

○ 各学校のICT機器、Wi-Fi環境の整備を推進

〔目的〕 ICT機器を活用して教員向けの研修や児童、生徒の学習を充実

- ・教育研究所、中学校や高校等に遠隔授業・研修システムを整備し、双方向型の通信研修や学校間での合同学習に活用〔平成28年度～〕
- ・県立学校にWi-Fi環境を整備してタブレット等を活用したスマート教育を推進
- ・生徒の出欠や成績などを管理する校務支援システムを導入し、教員の負担軽減と情報共有を推進。県立学校と小、中学校との仕様の共通化を検討〔平成28年度～〕

福井県事業	越前市での実施状況
遠隔授業・研修システムの整備	平成28～30年度の事業期間で福井県補助事業（補助率1/2）として実施。
校務支援システムの整備 （平成30年度から稼働）	平成31年度より福井県教育クラウドに参加予定（現在、校務支援システムは平成24年度から自庁設置方式で整備済）。

第3章 越前市における教育の情報化の現状

「平成28年度 学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（文部科学省 平成29年3月現在）」より抜粋

調査項目		目標値 *	全国 平均値	福井県 平均値	越前市
1	教育用コンピュータ1台当たりの 児童・生徒数（人／台）	3.6	5.9	4.5	5.4
2	普通教室の無線LAN整備率（%）	100	29.6	33.0	0
3	普通教室の電子黒板等整備率（%）	100	24.4	26.5	100
4	統合型校務支援システム整備率（%）	—	56.5	28.3	100
5	デジタル教科書の整備率（%）	—	48.3	67.3	100

*目標値は、第2期教育振興基本計画に掲げるもの

備考 教育用コンピュータ1台当たりの児童・生徒数について

平成28年度越前市5.4人／台は契約数量ベースで算出

教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数



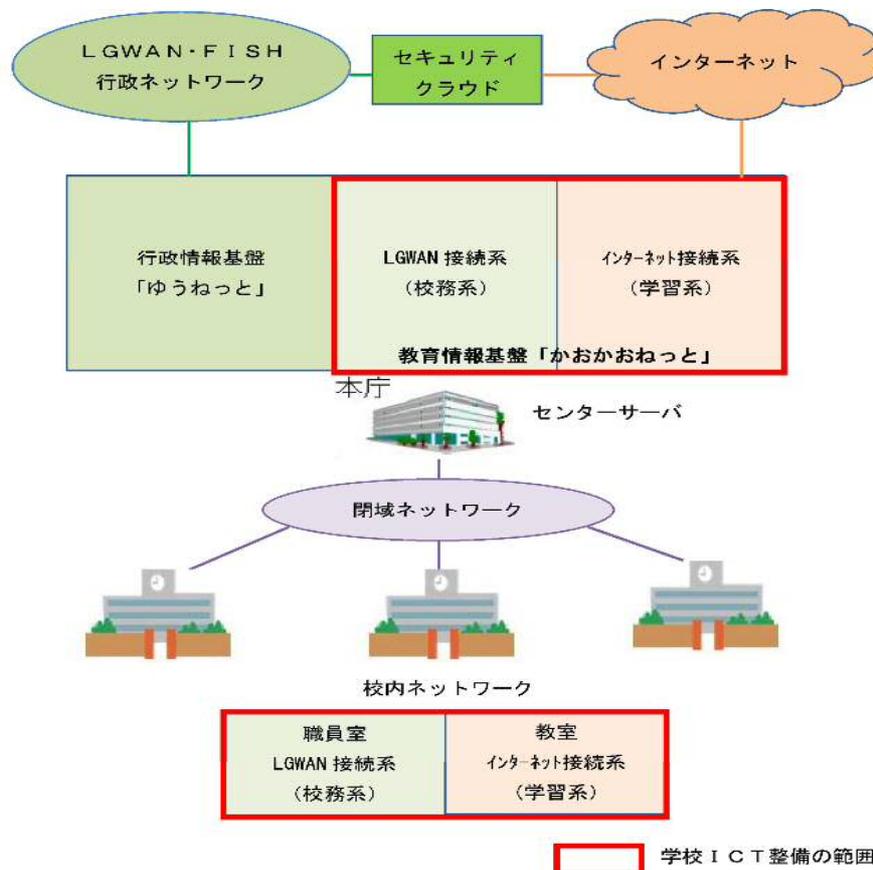
越前市においては、教育用PCの整備は十分とはいえないのが現状です。また、無線LAN環境が未整備なことが課題です。

本市の現状を、「学校ICT整備状況」、「学校ICTの教育現場での利活用状況」、「教員のICT活用指導力」の3つの視点で検証します。

1 学校ICT整備状況

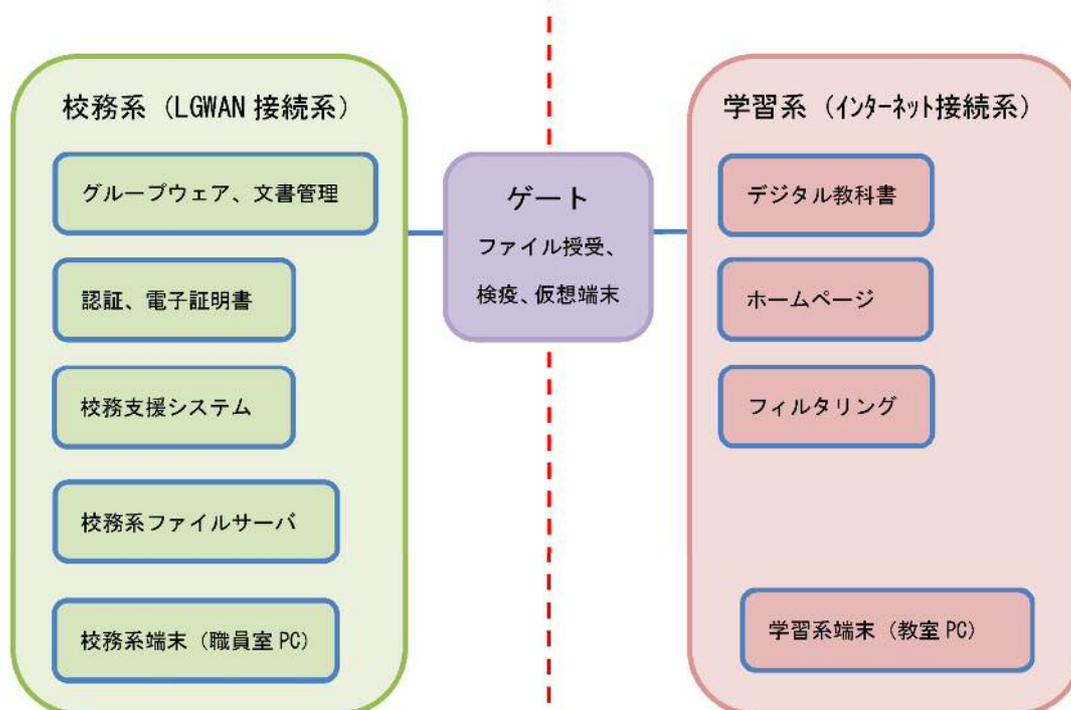
(1) 外部ネットワーク

現 状	課 題
<p>平成28年度越前市セキュリティ強靱化事業を実施し、LGWAN 接続系(校務系)とインターネット接続系(学習系)に分離した。校務系のインターネット接続は福井県セキュリティクラウドを通じて接続し、学習系のインターネット接続は、従来どおり民間アクセスポイントを通じて接続している。</p> <p>NHK for School などに使う学習系インターネット接続回線は、平成29年度に100Mbps以上に拡張した。</p>	<p>センター・学校間閉域ネットワーク回線の増強を図ること(現状 大規模校100Mbps、小規模校30Mbps、平成30年度より全校100Mbps以上に拡張予定)。</p>



(2) 内部ネットワーク、センターサーバ

現 状	課 題
<p>セキュリティ強靱化に伴い、センターサーバの各システム及びネットワーク接続端末も校務系と学習系に分離した。また、校務系と学習系のファイル授受と検疫はゲートを通じて行っている。</p> <p>校務系端末でのインターネット接続はサーバ上の仮想端末を通じて行っている。</p>	<p>学習系に教材データの学校間共有のためファイルサーバが不足している。</p> <p>行政系と教育系の一部サーバ機能が重複しており、共通化によるコスト削減が可能。</p>



(3) 教室機器・ソフトウェア

小学校

現 状		内 容	今回の整備課題
機 器	整備年度		
教職員 PC		ノート PC 教職員 1 人 1 台	—
普通教室	常設 PC	ノート PC 各教室 1 台 電子黒板ソフト	—
	プロジェクタ	各教室 1 台	—
	書画カメラ	各教室 1 台	—
特別教室	常設 PC	なし	新たに整備が必要
	プロジェクタ		
	書画カメラ		
パソコン 教室	常設 PC	デスクトップ PC 1 教室あたり 指導用 1 台、 学習用 4 0 台 校内サーバ 1 台 授業支援システム 「ジャストスマイル」	—
	プロジェクタ	各教室 1 台	機器の寿命
	書画カメラ	各教室 1 台	—
	プリンター	各教室 2 台	—

中学校

現 状		内 容	今回の整備課題
機 器	整備年度		
教職員 PC		ノート PC 教職員 1 人 1 台	—
普通教室	常設 PC	ノート PC 各教室 1 台 電子黒板ソフト 「MS Office」	—
	プロジェクタ	各教室 1 台	—

	書画カメラ	平成24年度	各教室1台	—
特別教室	常設PC	なし		新たに整備が必要
	プロジェクタ			
	書画カメラ			
パソコン 教室 1校あたり 1教室	常設PC	平成25年度	デスクトップPC 1教室あたり 指導用1台、 学習用40台 校内サーバ1台 授業支援システム 「MS Office」	—
	プロジェクタ	平成20年度	各教室1台	機器の寿命
	書画カメラ	平成25年度	各教室1台	—
	プリンター	平成25年度	各教室2台	—
LL教室	常設PC	平成25年度	デスクトップPC	—
	プロジェクタ	平成20年度	各教室1台	機器の寿命
	書画カメラ	平成25年度	各教室1台	—

(4) 第二次教育の情報化計画後の追加整備

現 状		内 容	今回の整備課題
機 器	整備年度		
特別支援学級・通級用 タブレットPC	平成28年度	スタンドアロン 「iPad」35台	ネットワーク接続 (モバイルルータ)
遠隔授業・研修システム (福井県補助事業)	平成28年度 平成29年度 平成30年度 (予定)	専用PC、カメラ、 マイク、スピーカ ーのセット 小中各校2セット	平成30年度整備に おいては、更新する教 室常設PCを活用す る。

(5) デジタル教科書

現 状	今回の整備課題
小学校 国語、社会、算数、理科、家庭 センターサーバ配信方式	円滑に授業を行うためには、デジタル教科書ソフトの起動速度、レスポンスのさらなる高速化が必要なため、メーカーに改善要望する。
中学校 国語、社会、数学、理科、英語、 技術・家庭 センターサーバ配信方式	

(6) ヘルプデスク

現 状	今回の整備課題
一括受付対応、課題対応業者仕訳 平日午前9時～午後5時 年間対応件数 およそ860件	ワンストップサービスになっていない。 複数の事業者が連携（協業）してサービスを提供するサプライチェーンの編成による提供となっており、引き続き一括受付対応の仕組みを継承するとともに、可能なところからクラウド化を進める。

(7) ICT 支援員

現 状	今回の整備課題
平日午前9時～午後5時の時間帯で訪問 ICT 授業支援、校務システム支援 年間訪問回数 小学校 およそ380回 中学校 およそ 60回	情報処理能力をもったICT支援員が必要。 機器のトラブルやネットワークの障害対応といったICT保守のサポートも必要。

(8) 校務支援システム

現 状	今回の整備課題
H24 導入 センターサーバ方式	県のシステムは平成30年度から開始するが、保健機能が搭載されるのは平成31年度からであるため（現在の市の校務支援システムには保健記録機能がある）、平成31年度から福井県教育クラウドの校務支援システムに参加する。 また、クラウド導入後は業務仕様の平準化が求められる。

(9) 図書システム

現 状	今回の整備課題
なし	標準化したシステムの導入が必要

(10) 学校ホームページ

現 状	今回の整備課題
全校で開設・公開している センターサーバ CMS 方式	—

(11) 学校敷地内カメラ

現 状	整備年度	今回の整備課題
各校1式	平成19年度	機器更新

(凡例)

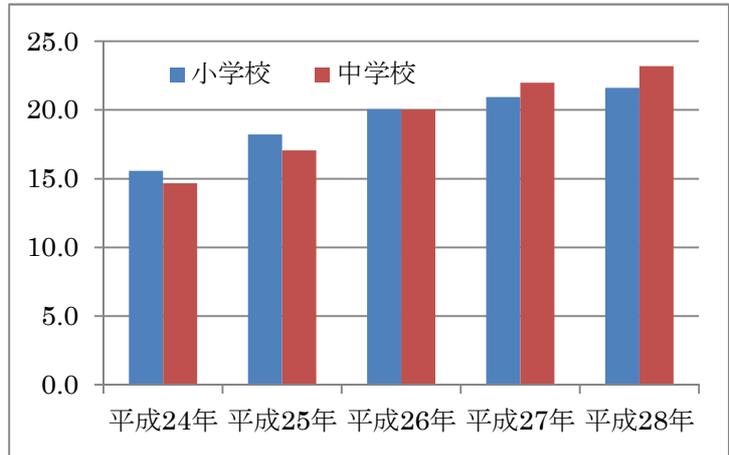
	平成25年度整備	第二次教育の情報化計画
	平成24年度整備	
	平成19・20年度整備機器	第一次教育の情報化計画
	整備していない	

2 学校ICTの教育現場での利活用状況

(1) 1カ月あたり1普通教室のプロジェクタの平均利用時間の推移（越前市教育委員会調査 平成24～28年度）

(時間/月)

	小学校	中学校
平成24年	15.6	14.7
平成25年	18.2	17.0
平成26年	20.1	20.0
平成27年	20.9	22.0
平成28年	21.6	23.2



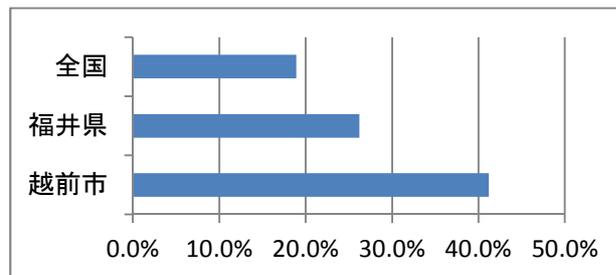
教室での学校ICTの利活用は、越前市では、教室のプロジェクタの使用時間を指標としています。教育委員会が掲げた目標値10時間/月（1教室あたり）を大きく上回り、利活用が順調に伸びています。

(2) 全国学力・学習状況調査結果（平成29年度 文部科学省）

「ICTを活用した授業がよく行われた」と回答した学校の割合

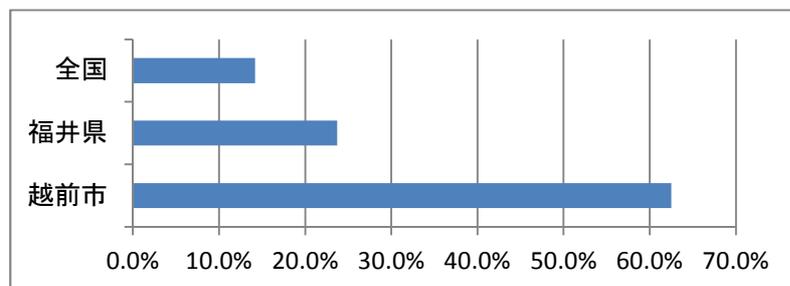
小学校 (単位：%)

全国	18.9
福井県	26.2
越前市	41.2



中学校 (単位：%)

全国	14.2
福井県	23.7
越前市	62.5



越前市の小中学校でのICT利活用は全国的にみてトップクラスの水準にあると言えます。

3 教員の ICT 活用指導力

「平成28年度 学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（文部科学省 平成29年3月現在）」より抜粋

教員の ICT 活用指導力の状況（「わりにできる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合（%））

小学校

調査項目		全国	福井県	越前市
A	教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用することができる	85.1	86.6	93.3
B	授業中に ICT を活用して指導することができる	77.6	80.0	93.9
C	児童の ICT 活用を指導することができる（*）	69.8	66.7	79.7
D	（児童に）情報モラルなど（ルールやマナー）を指導することができる	83.3	82.7	93.4
E	校務に ICT を活用することができる	80.6	82.0	90.8

中学校

調査項目		全国	福井県	越前市
A	教材研究・指導の準備・評価などに ICT を活用することができる	82.0	84.5	92.6
B	授業中に ICT を活用して指導することができる	71.7	78.6	94.0
C	生徒の ICT 活用を指導することができる（*）	61.0	63.9	67.7
D	（生徒に）情報モラルなど（ルールやマナー）を指導することができる	77.5	80.8	89.2
E	校務に ICT を活用することができる	78.4	81.3	86.3

調査項目 C（*）について

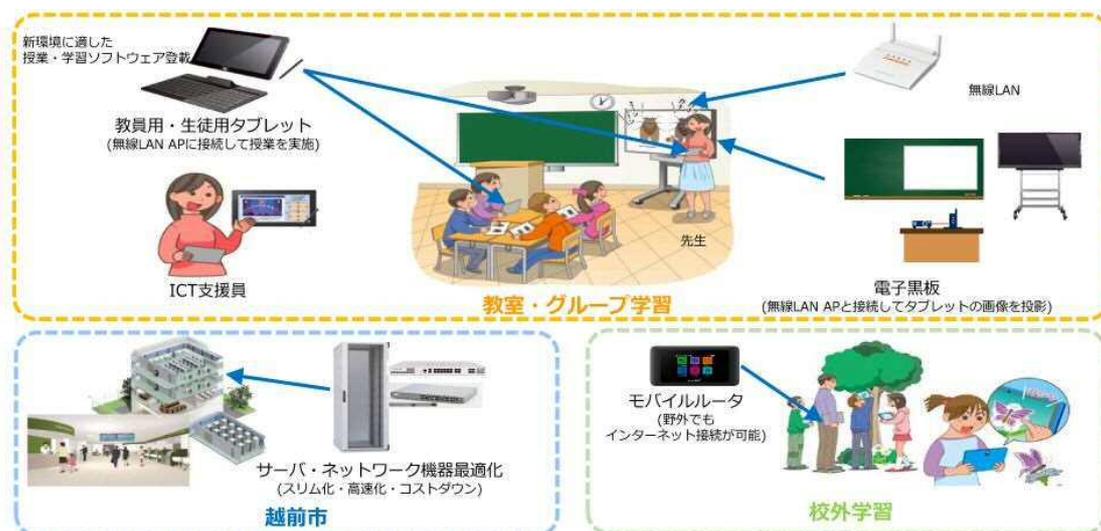
児童・生徒用 PC の利用空間が限られているため、越前市においては上記調査項目 C の達成度が相対的に低い結果となっています。新学習指導要領では児童・生徒の情報活用能力を向上させることを目標にしており、各教室に児童・生徒用タブレット PC を整備することで、越前市の教員はすべての項目において全国的にトップクラスの ICT 指導力を獲得できると期待されます。

第4章 教育情報化事業推進に向けたアクションプラン

これまでの内容を踏まえ、越前市としての教育情報化事業推進に向けた具体的なアクションプラン（行動計画）を示します。

1 これからの学習活動と求められる環境整備

将来の予測が難しい社会においては、情報や情報通信技術を受け身で捉えるのではなく、手段として活用していく力が求められています。未来を拓いていく子どもたちには、情報を主体的に捉えながら、何が重要かを考え、見いだした情報を活用し、他者と協働しながら新たな価値の創造に挑んでいくことがますます重要になっています。



(1) 新学習指導要領（文部科学省 平成29年3月公示）での方針

平成30年度から移行期間に入り、平成32年度から順次実施（平成32年度小学校、平成33年度中学校）される新学習指導要領において、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力である「情報活用能力」は、各教科等で身に付ける資質・能力の育成の観点から不可欠な基盤となるものとして位置付けられ、各学校においては、教科等横断的な視点に立った教育課程編成及び学習の充実等が求められることとなりました。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学びの過程等



において、ICTを適切に活用した学習活動の充実が求められることと、個別学習やグループ別学習、繰り返し学習、学習内容の習熟の程度に応じた学習、児童の興味・関心等に応じた課題学習、補完的な学習や発展的な学習などの学習活動や、指導方法や指導体制の工夫改善による個に応じた指導の充実などを、児童・生徒や学校の実態に応じて取り入れる際にもICTを活用することとされました。さらに、各教科等においても「ICTを活用した学習が効果的に行われるようにすること」といったことも記載され、ICTの活用を前提とした教育環境を整えることが求められています。

また、小学校においては、「プログラミング的思考」などを育むプログラミング教育について、子どもたちの生活や教科等の学習と関連付けつつ、発達の段階に応じて計画的に実施することとされました。

(2) タブレットPCの特徴と新たな授業の展開

タブレットPCは、タッチパネルやペンで入力することができ、持ち運びが簡単で気軽に使えることが特徴です。児童・生徒がタブレットPCを持ったまま教室の前に立ち、自分で用意した資料画面を見ながら発表することや、手書き入力によってノートとして使うこともできます。また、タブレットPCに搭載される授業支援システムを使って、教師用タブレットから児童・生徒用タブレットに資料を配付したり、逆に回収したりすることもできるため、児童・生徒用端末には最適なものとされています。



これにより、従来はあまり行われてこなかった学習を可能にし、または、行われていたとしても効率が悪かった学習を円滑に行えるようにすることが可能となり、児童・生徒の「主体的・対話的で深い学び」に繋がるものと考えます。

「双方向性のある授業の実現」



授業での具体的な活用は、以下のものが挙げられます。

活用例	効 果
①習熟度に応じた個別の学習	児童・生徒は一人ひとりの習熟度や学習速度が異なるため、「分かる」レベルから「できる」レベルにするためには効果がある。
②写真・動画撮影をする (学習場面の再現性)	観察に行ったときに対象物を写真撮影することで、教室で再度観察したり、成長の記録として残したりすることができる。 また、動画撮影では、体育の実技を撮影し、再生することで改善点を話し合ったり、まちの人にインタビューした様子を学校に持ち帰ったりすることが可能となる。
③拡大して見る	画面を拡大し、写真や資料の細部を念入りに見ることができ、学習者が根拠のある考えを持ったり、詳しく観察して学び直したりすることが可能となる。
④調べる	インターネットに接続することで、全ての学習者が自分に必要な情報を閲覧することが可能となる。
⑤比べる・分析する・考察する	調べ学習等で集めた大量のデータを表に整理したり、グラフ化して傾向を見つけたりすることが、コンピュータを用いることで容易となる。 また、思考ツール(ソフト)を利用することで、アイデアの書き消し、修正、移動等が容易となる。
⑥見せる・発表する・保存する	自分の考えを人に伝えるときにプレゼンの資料等を作成して示しながら話すような学習が各所で同時に進行できる。 また、学習者の画面を大きく映し出したり、模造紙では読めなかった教室の後ろの学習者も読めるようになる。
⑦送る (双方向性)	教師用タブレットから児童・生徒用タブレットに資料を配付したり回収したりする、または、児童・生徒用タブレット間で資料を送り合うことで、双方向性のある授業ができる。
⑧共有・協働する	互いのアイデアを自分のものと組み合わせたり、編集して活用したりできる。また、全員の画面を一覧にできる機能を使うことで、より多くの学習者の発言を引き出すことができる。

(3) デジタル教科書等の活用

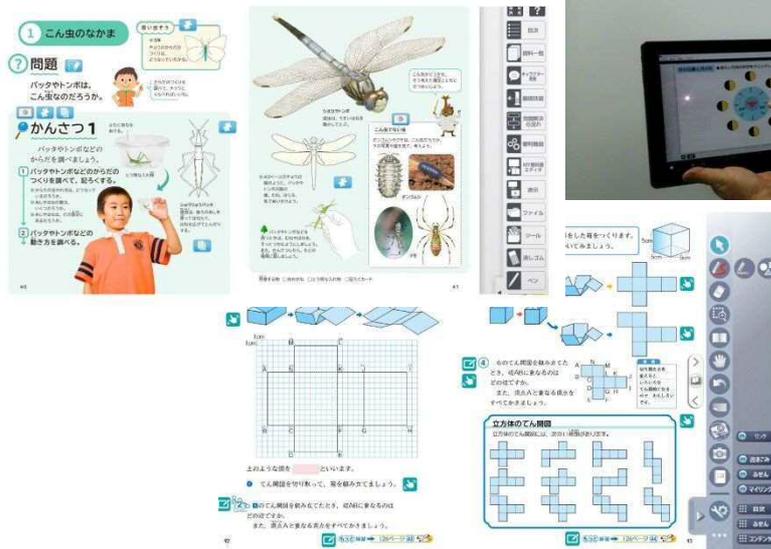
書き込み等の機能を活用することで、児童・生徒の学びの充実を図ることができることから、本市においては第一次越前市教育の情報化計画時より導入し、第二次越前市教育の情報化計画時に対応教科を増やしました。

今後は、児童・生徒の多様な学習ニーズに応えることや習熟度に応じた個別学習、またはグループ学習にも対応できるようにするため、児童・生徒用端末からもデジタル教科書を閲覧できる環境を整備していくことが望ましいと考えます。

また、小学校でのプログラミング教育については、対応ソフトウェアの利用を検討します。

(写真 タブレット PC でデジタル教科書を操作)

デジタル教科書



2 第一次及び第二次越前市教育の情報化計画の達成状況

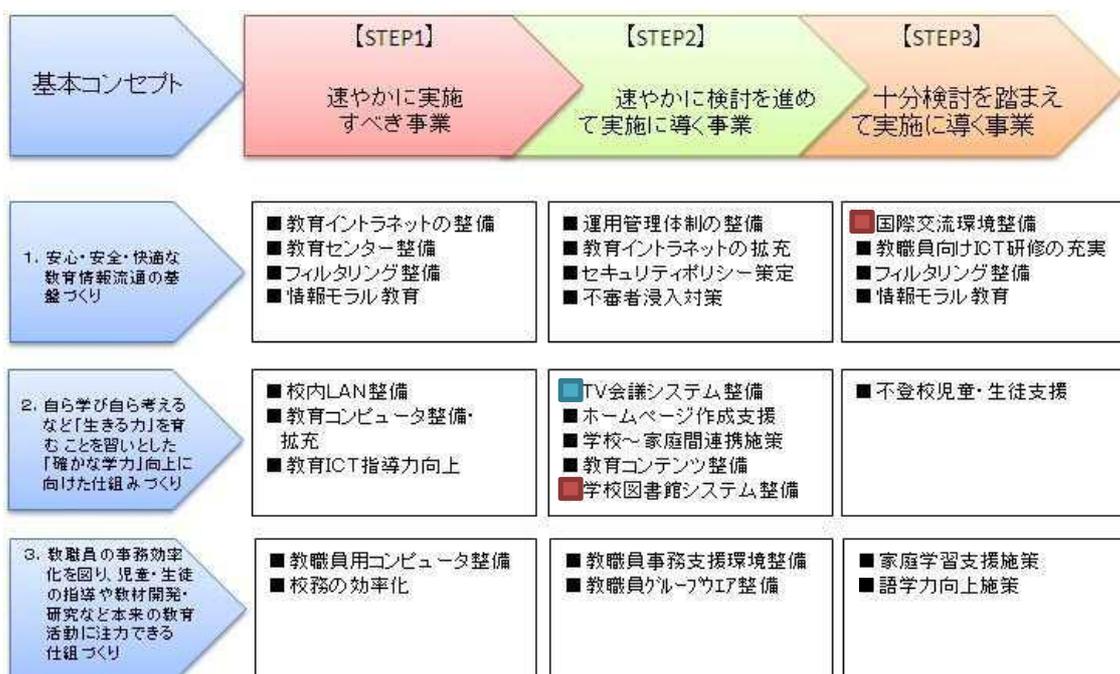
第二次越前市教育の情報化計画までは、STEP 1から5までの段階的に整備を実施してきました。その実施状況を検証します。

(1) 基本コンセプト

「教育の情報化」基本コンセプトの概要

基本コンセプト1	「安心・安全・快適」な教育情報流通の発展
概要	情報モラル教育の充実及び、教育情報に地域・保護者が積極的に関り、地域の教育力を高めます。 また学校経営を広く理解いただくため、積極的に情報を提供いたします。
基本コンセプト2	「生きる力」「確かな学力」の育成
概要	子どもたちの学ぶことに対する主体性を醸成するため、学びの場を増幅し、個に応じた学習環境を検討・実践します。 きめ細かい学習指導により、確かな学力を育成します。
基本コンセプト3	ICT環境の効率的な活用による子どもたちへの効果を高める
概要	学習指導に関する情報の共有化を図る等、校務の効率化を推進し、教員と子どもが向き合う時間を増やします。

(2) STEP 1～3の達成状況



* ■は実施済項目、■印は未実施項目、■印は前計画から進展・達成した項目。

①STEP 1～3のうち前計画から進展・達成した項目

基本コンセプト	実施項目	実施年	達成率	現状
2	TV会議システム整備	H28	100%	—

・TV会議システム整備（遠隔授業・研修システム整備 福井県補助事業）

平成28年度福井県の事業によって、全小中学校にTV会議システムを各1セット整備、平成29年度にすべての中学校に1セットを追加整備しました。平成30年度には小学校に1台追加整備する予定です。

・特別支援学級用タブレットPC整備

計画に明記されてはいませんが、平成28年度に特別支援学級用・通級指導用としてタブレットPC35台と対応ソフトウェアを整備しました。

②STEP 1～3のうち残された課題（未実施項目）

基本コンセプト	未実施項目	実施年	達成率	現状
2	学校図書館システム整備	—	0%	未実施
2	国際交流環境整備（外国人児童生徒支援）	—	0%	未実施

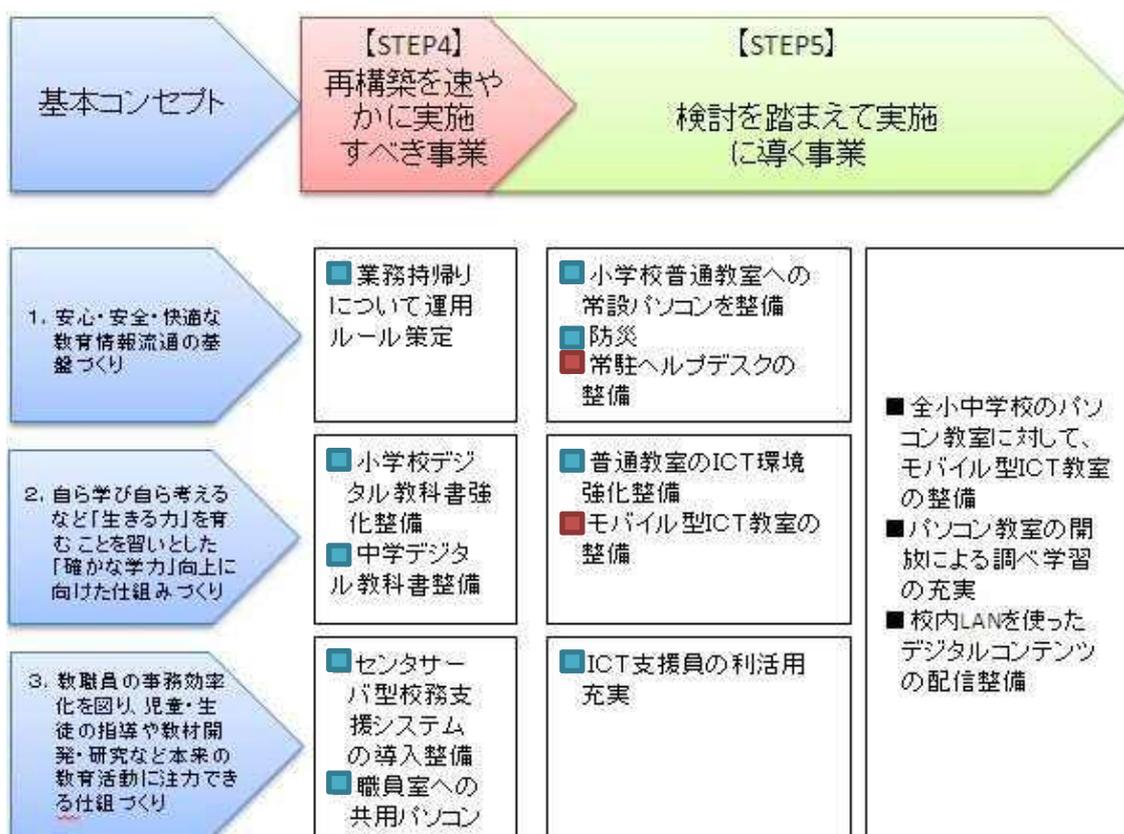
・学校図書館システム整備

学校図書館の蔵書貸出管理については、当初計画よりその必要性が認識されてきましたが、具体的な共通整備にいたっていない状況です。今後、学校司書・図書部会等において検討をすすめ早期に整備する必要があります。

・国際交流環境整備（外国人児童・生徒支援）

外国人児童・生徒への学習支援においても学校ICTの活用を図ります。増加する外国人児童・生徒の学習支援のため、ICT環境においても多言語対応教材（ポルトガル語等）が必要となります。

（２）STEP 4、STEP 5の達成状況



* ■印は未達成項目、■印は前計画から進展・達成した項目。

STEP 4は再構築を速やかに実施すべき事業とされ、平成24・25年度再整備事業での達成状況は次のとおりです。

基本コンセプト	実施項目	実施年	達成率	現状
1	業務持帰りについて運用ルール策定	H24	100%	—
2	小学校デジタル教科書強化整備	H24	100%	—
	中学校デジタル教科書の整備	H24	100%	—

3	センタサーバ型校務支援システムの導入整備	H24	100%	—
	職員室への共用パソコン整備	H24	100%	—

STEP 5は、検討を進めて実施に導く事業とされたもので、第二次計画での達成状況は次のとおりです。

基本 コンセプト	実施項目	実施年	達成率	現状
1	防災	H24	100%	—
	常駐ヘルプデスクの整備	—	0%	未実施
2	普通教室のICT環境強化整備	H24	100%	—
	モバイル型ICT教室の整備	—	0%	未実施
3	ICT支援員の利活用充実	H24	100%	—

STEP 1～5の未実施の項目については、教育環境を取り巻く社会情勢の変化と国等からの新たな指針等を受け、今回の改定でプランを見直して次の整備計画の中に位置付けます。

STEP 1～5の未実施項目

基本 コンセプト	未実施項目
2	学校図書館システム整備
	国際交流環境整備（外国人児童・生徒支援）
	モバイル型ICT教室の整備
	常駐ヘルプデスクの整備

3 第三次越前市教育の情報化計画アクションプラン

ここでは、「教育の情報化」を効率よく進めていくために具体的な事業を整理し、優先順位を示します。

国等の動向や新学習指導要領に対応し、前計画の基本コンセプトを変更するとともに、平成30年度から速やかに実施すべき事業を「STEP 6」、平成31年度から検討を踏まえて実施に導く事業を「STEP 7」とします。

(1) 基本コンセプト

基本コンセプト	概要
1 情報基盤・セキュリティ 安全・安心・快適な情報基盤をつくります。	社会情勢の変化に応じて、安全な学校ICT整備と運営を行います。 情報モラル教育の充実及び教育情報に地域・保護者が積極的にに関わり、地域の教育力を高めます。 学校経営を広く理解いただくため、積極的に情報を提供いたします。
2 学習環境 「主体的・対話的で深い学び」を生み出す環境づくりと情報活用能力を育成します。	情報活用能力育成の基盤となる資質・能力の育成に対応する学校ICT環境をつくります。 子どもたちの学ぶことに対する主体性を醸成するため、学びの場を増幅し、個に応じた学習環境を検討・実践します。 きめ細かい学習指導により、確かな学力を育成します。
3 校務環境 ICT環境の効率的な活用による子どもたちへの効果を高め、教員と子どもが向き合う時間を増やします。	教職員の事務効率化を図り、児童・生徒の指導や教材開発・研究など本来の教育活動に注力できる仕組みをつくります。 校務分掌に関する業務やサービス管理上の事務等を標準化します。

(2) STEP 6 平成30年度から速やかに実施すべき事業

基本コンセプト	実施項目	内容
1	学校ICT基盤再構築・端末等更新	サーバ及びネットワーク機器の構成を見直し、行政のICT基盤との共通化を図るなどして投資を効率化するとともに、セキュリティを高め、通信の高速化を図ります。
	新たな教育情報セキュリティポリシーの策定	国等の新たな方針を受け、教育情報セキュリティポリシーを策定します。

2	特別教室のICT環境整備（一部）	小中学校特別教室の一部に新たに普通教室と同じICT環境を整備します。
	主体的・対話的で深い学びの実現（モバイル型ICT教室の整備）	教師と児童・生徒間、または児童・生徒間における双方向性のある学びを実現するため、タブレットPCや無線LAN機器を整備して、新しい授業を実現します。
		授業のねらいに迫る効果的なICT活用ができるよう教員の指導力向上を図ります。

（3）STEP7 平成31年度以降に検討を進めて実施に導く事業

基本 コンセプト	実施項目	内 容
1	学校敷地内カメラの更新	機器を更新する。
2	特別教室のICT環境整備（全部）	小中学校特別教室の全てに普通教室と同じICT環境を整備します。
	学校図書システム整備	小中学校図書室に新たに蔵書管理、貸出システムを整備して、新刊を児童・生徒の手元に早く届けます。
	タブレットPCの屋外利用環境整備（モバイルルータ）	校外学習や体育館・校庭でもタブレットPCでインターネットを利用して調べ学習ができるようにします。
	国際交流環境整備（外国人児童・生徒支援）	学習者用PCの多言語対応教材の調達。（現時点では対応教材がない）
3	校務支援システムのクラウド化	個人情報を取り扱う校務支援システムは、自庁設置方式から、より安全性・機能性が高いクラウドサービス利用方式に切り替えます（平成31年度に福井県教育クラウドに移行）。

* 「常駐ヘルプデスクの整備」については、費用対効果が少ないため除外します。

基本コンセプト	【STEP6】 平成30年度から 速やかに実施すべき事業	【STEP7】 平成31年度から 検討を踏まえて実施に導く事業
1 情報基盤 セキュリティ	<input type="checkbox"/> 学校ICT基盤再構築・端末等更新 <input type="checkbox"/> 新たな教育情報セキュリティポリシーの策定	<input type="checkbox"/> 学校敷地内カメラの更新
2 学習環境	<input type="checkbox"/> 特別教室のICT環境強化整備（一部） <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びの実現（モバイル型ICT教室）	<input type="checkbox"/> 特別教室ICT環境強化整備（全部） <input type="checkbox"/> 学校図書システム整備 <input type="checkbox"/> タブレットPCの屋外利用環境整備（モバイルルータ） <input type="checkbox"/> 国際交流環境整備（外国人児童生徒支援）
3 校務環境		<input type="checkbox"/> 校務支援システムのクラウド化

【参考資料】

◇計画の策定及び実行体制

(1) 今回の教育の情報化計画策定の経過

本計画の策定にあたっては、現職教職員2名、教育委員会事務局職員（教員2名、事務職1名）で構成する策定部会を設置し、検討を重ねて来ました。検討会においては、総務省地域ICTマネージャーからの技術的助言と情報統計課の支援を得ました。

計画検討会実施日

平成29年4月25日 第1回 検討会

6月9日 第2回

8月10日 第3回

9月1日 第4回

9月25日 第5回

10月10日 越前市学校代表者会議において次期整備計画について協議

11月2日 越前市総合教育会議において次期整備計画について協議

平成30年1月30日 政策協議（市長協議）

3月2日 市教育委員会定例会において第三次教育の情報化計画を決定

(2) 仕様書・設計書の作成

仕様書・設計書作成を業務委託し、成果を予算要求及び発注のための基礎資料としました。業者選定はプロポーザル方式により行い、参加表明した3社から選考し、平成29年5月26日に1社を選定しました。業務にあたっては、市情報統計課との連携・協力体制を築きました。

次期整備計画の概要を基に、平成29年11月から平成30年1月にかけて、県内IT業者に対してRFI（情報提供依頼）およびRFP（企画提案依頼）を実施し、提供された情報を精査するとともに、授業支援システムや無線LAN機器の稼働テストを数多く実施しました。



(写真は タブレットPC40台と無線LAN機器接続テストの様子)

◇越前市公立小中学校の所在地、児童・生徒数、教員数、教室数

1 学校所在地

学校名		所在地
	小学校	
1	武生東小学校	越前市国府2丁目9-12
2	武生西小学校	越前市中央2丁目2-13
3	武生南小学校	越前市武生柳町13-20
4	神山小学校	越前市広瀬町102-43
5	吉野小学校	越前市本保町17-1
6	大虫小学校	越前市高森町14-15
7	国高小学校	越前市国高1丁目15-5
8	坂口小学校	越前市湯谷町24-25
9	王子保小学校	越前市今宿町5-14
10	北日野小学校	越前市小野谷町2-2
11	北新庄小学校	越前市北町47-6
12	味真野小学校	越前市池泉町9-1
13	白山小学校	越前市都辺町24-2
14	南中山小学校	越前市中津山町38-13-2
15	花筐小学校	越前市粟田部町41-12
16	服間小学校	越前市藤木町12-11
17	岡本小学校	越前市定友町10-15
	中学校	
1	万葉中学校	越前市西尾町48-18
2	武生第一中学校	越前市平出1丁目6-1
3	武生第二中学校	越前市妙法寺町42-15
4	武生第二中学校坂口分校	越前市湯谷町24-25
5	武生第三中学校	越前市村国2丁目3-56
6	武生第六中学校	越前市四郎丸町16-1
7	武生第五中学校	越前市都辺町36-73
8	南越中学校	越前市野岡町28-4

2 児童・生徒数（平成 29 年 5 月 1 日学校基本調査）

	学校名	児童・生徒数	教員数（講師含む）
1	武生東小学校	2 1 5	2 0
2	武生西小学校	3 5 2	2 6
3	武生南小学校	5 4 9	3 0
4	神山小学校	1 9 8	1 5
5	吉野小学校	4 4 2	2 4
6	大虫小学校	3 5 3	1 9
7	国高小学校	6 6 3	3 7
8	坂口小学校	2 3	6
9	王子保小学校	3 3 7	2 1
1 0	北日野小学校	2 5 8	1 7
1 1	北新庄小学校	1 8 4	1 2
1 2	味真野小学校	2 5 3	1 7
1 3	白山小学校	6 8	1 1
1 4	南中山小学校	1 5 2	1 3
1 5	花筐小学校	1 7 5	1 2
1 6	服間小学校	7 4	1 2
1 7	岡本小学校	1 5 3	1 3
	小学校計	4, 4 4 9	3 0 5
1	万葉中学校	3 8 7	2 6
2	武生第一中学校	6 0 9	4 4
3	武生第二中学校	4 3 8	3 2
4	武生第二中学校坂口分校	1 2	5
5	武生第三中学校	3 7 1	2 9
6	武生第六中学校	2 0 0	1 7
7	武生第五中学校	3 3	1 1
8	南越中学校	3 2 7	2 8
	中学校計	2, 3 7 7	1 9 2

(1) 平成 3 0 年度学習者用タブレット PC の整備目標数量

小学校 1 0 6 0 台、中学校 6 5 5 台、予備数 1 割

(2) 教職員 PC 数量は、上記教員数に加えて、事務職員用各校 1 台、調理員室共有各校 1 台、職員室共有各校数台、予備数 1 割とする

3 教室数 ((平成29年5月1日学校基本調査))

	小学校	普通教室	理科	音楽	図工	家庭科	図書室	PC教室
1	武生東小学校	12	1	2	1	2	2	1
2	武生西小学校	15	1	2	1	1	1	1
3	武生南小学校	21	2	2	1	1	1	1
4	神山小学校	8	1	1	1	1	1	1
5	吉野小学校	16	1	1	1	2	1	1
6	大虫小学校	13	1	1	2	1	1	1
7	国高小学校	25	2	2	1	1	2	1
8	坂口小学校	6	1	1	—	1	—	—
9	王子保小学校	13	1	1	1	1	1	1
10	北日野小学校	11	1	1	1	1	1	1
11	北新庄小学校	7	1	1	1	1	1	1
12	味真野小学校	13	1	1	1	2	2	1
13	白山小学校	6	1	1	1	1	1	1
14	南中山小学校	8	1	1	1	1	2	1
15	花筐小学校	7	1	1	1	1	1	1
16	服間小学校	7	1	1	1	1	1	1
17	岡本小学校	7	1	1	1	2	1	1
	合計	195	19	21	17	39	28	16

(1) 常設指導用 PC の整備を優先する特別教室：理科室

(2) 無線 LAN の整備を優先する教室：普通教室、理科室、図書室、PC 教室

	中学校	普通教室	理科室	技術室	家庭科室	音楽室	美術室	図書室	LL 教室	PC 教室
1	万葉中学校	1 4	2	1	2	2	1	1	1	1
2	武生第一中学校	2 3	3	2	2	2	3	1	1	1
3	武生第二中学校	1 7	2	2	3	2	3	1	1	1
4	坂口分校	3	1	1	1	1	1	1	—	1
5	武生第三中学校	1 4	2	2	3	2	4	1	1	1
6	武生第六中学校	9	1	1	1	1	1	1	1	1
7	武生第五中学校	4	1	1	2	1	2	1	1	1
8	南越中学校	1 3	2	1	4	2	2	1	1	1
	合 計	9 7	1 4	1 1	1 8	1 3	1 7	8	7	8

(1) 常設指導用 PC の整備を優先する特別教室：理科室、技術室、家庭科室

(2) 無線 LAN の整備を優先する教室：普通教室、理科室、技術室、家庭科室、図書室、PC 教室、LL 教室